

ごみ集積所の配置・管理運営を工夫し 暮らしやすい環境を目指しましょう

家庭ごみの収集について

高齢化による市民からの 要望等及びその対応について。

経済環境部長 ごみ出しが困難になった高齢者等への支援については、検討すべき課題として認識している。

要介護・要支援認定を受けている方へのごみ出し等の支援は、訪問介護サービスの生活援助に家

事援助サービスがあり、居室やトイレの清掃と並んでごみ出しもメニューに入れることができる。

また、要介護・要支援認定を受けていない方に対しては、市シルバー人材センターによるワンコイン支援サービスや、市社会福祉協議会による有償在宅福祉サービスなどをご利用いただいている。



指定ごみ袋の導入について。

経済環境部長 筑西広域市町村圏事務組合の構成市のうち、筑西市、桜川市は、既に指定ごみ袋を導入している。

また、県内では、指定ごみ袋を導入している自治体は44市町村中、39市町村である。

このような状況を踏まえ、本市でも指定ごみ袋の導入について、結城市廃棄物減量等推進審議会

ごみ問題は全ての人に身近なテーマです



平塚 明
(ひらつか あきら)



録画映像
はこちら

に諮問し、審議していた
だいている。

ごみ減量化への取組について。

市長 本市のごみの排出量は、減少傾向にあるものの、まだまだ分別できる余地があると考えている。

ごみの適正処理は、環境問題だけでなく、より身近な自治会内等の地域コミュニティに係る問題や高齢者等のごみ出し困

難者対策など、様々な課題を含んだ重要な施策である。

これらの課題を解決するには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠であるので、引き続き積極的に啓発活動や支援制度の検討を進めていく。

指定ごみ袋の導入については、結城市廃棄物減量等推進審議会にご審議いただいております、その答申を踏まえて、市の方針を決定していく。

